

なぜ日本人は新型コロナウイルスによる死亡率が低いのか。「マスクの着用率が高いからだ」「過去に類似ウイルスが流行したのだらう」「BCG接種と関係があるはずだ」など諸説が生まれている。民度のレベルが違っただけだ。そんな独自の説を披瀝したが、麻生太郎副総理兼財務相だった。6月4日の参院財政金融委員会です。新型コロナウイルスによる死者について「人口比で100万人当たり日本は7人となる」と説明。英国やフランス、米国などより圧倒的に低いと指摘した上で、「こう語った。「電話かかかってきたとき、『お前だけ薬を持っているのか』とよく言われたものでした。そのいた質問には『おたくどつおの国とは国民の民度のレベルが違っんだ』と言った。みな絶句して黙るんです」そして、「この説が定着しつつあることも確調した。もちろん「なぜ？」を分析するだめ国民性というプロトタイプもあるだろうが。その中で、新型コロナウイルスの疑問を科学的に遺伝子レベルで解き明かそうとしている医師、科学者の研究がルーツがある。「サイ

一筆多論

コロナと戦う“七人の侍”

大谷次郎

エンスで新型コロナウイルスから国民を守る」という純粋な思いから、5月に発足した緊急プロジェクト「コロナ制圧タスクフォース」だ。新型コロナウイルスの感染拡大を抑制、学校の全国一斉休校を受け、学校に達する勢いだ。0例に達する勢いだ。研究統括を務める金井教授は「経験したこのない未知のウイルスのパラメータ(世界的大流行)に対して、いろいろな協力が重なった。困難に立ち向かう団結力は大きい」と語る。そんな会話がきっかけだった。集まったのは、慶応のゲノム解析が終わり、中大の金井隆典教授(消化器学)や京大の小川誠司教授(分子遺伝学)、東京医科歯科大の宮野悟M&Dリータ科学センター長(情報計算科学)ら。ほかにも臨床機器学などの幅広い分野の医師、科学者が参加する。日本人の感染者の遺伝子を分析することで、新型コロナウイルスに感染しても重症化しにくい因子が突き止められ、日本に適用したワクチン開発につながるだろう。集まった現代の“侍”たちが必ず新型コロナウイルスの謎を解き明かし、制圧するはずだ。(副編集長兼論説委員)